

小学校・全学年 特別活動（学校行事）

避難訓練

1 題材名 「震度5強の地震及び火災の発生を想定した避難訓練」

2 ねらい

緊急地震速報鳴動時及び火災時の基本的な避難行動を理解し、安全な避難方法を身に付ける。

【想定】

- ① 緊急地震速報の鳴動
- ② 帰りの会を実施しているときに大地震発生
- ③ 火災の発生

3 訓練の実際

	時間の推移	児童の動き	◎支援・留意点 ■評価
事前指導			◎避難行動のキーワード「ものが落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で頭を守る」の指導を徹底する。 ◎火災発生時の適切な避難行動について指導する。
避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報の鳴動 ○大地震の発生 ○火災の発生 ○放送による避難指示 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものが「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に避難し、頭を守る。 ○地震がおさまるまで避難行動を継続する。 ○放送を聞き、状況を把握するとともに、これからどのように避難するか知る。 ○ハンカチを口に当て、防災頭巾をかぶり、廊下に整列する。教職員の指示と「お・か・し・も」の約束に従って、校庭に避難する。 ○校庭に整列する。 ○講話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎児童が素早く避難行動を取れているか、机の脚をしっかりとつかみ、頭を保護することができているか確認し、できていない児童には個別に指導する。 ◎避難誘導担当以外の教員が、消防機関への通報、校内への連絡、初期消火を行う。 ◎出火場所付近の階段、通路を避けた避難経路を設定する。 ◎避難誘導の教職員は、ヘルメットを着用し、非常バッグ、出席簿を所持する。 ◎「お・か・し・も」の約束の徹底を図る。 ◎人員及び校内の安全を確認し、本部に報告する。
事後指導		<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報が鳴ったときの避難行動の仕方について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎問題点や改善策について考えさせる。 ■迅速にかつ静かに避難行動を取っている。